

	<h2 style="text-align: center;">展示で遊んで鳥を見つけて好きになる。 中里郷土の森で「となりのトリ展」を開催！</h2>
<p>と き</p>	<p>令和6年2月26日（月）まで</p>
<p>と ころ</p>	<p>区立中里郷土の森（大泉町1-51-2）</p>
<p>区立中里郷土の森では、2月26日まで、企画展「となりのトリ展」を開催しています。</p> <p>今年のテーマは「身の回りの野鳥」。企画展を通して、身の回りの野鳥の存在に気が付き、知り、楽しんでもらうことが目的です。</p> <p>参加型企画「となりのトリ図鑑」では、見つけた野鳥の図鑑のページをもらうことができ、たくさん集めると景品がもらえます。その他、かるたあそびや剥製展示、近隣の緑地に解説員と出掛ける「とり見たんけん」など、幅広い年齢のお子様楽しく遊んで学べる仕掛けがたくさんあります。</p> <p>バードウォッチングが初めてでも安心して参加できるように、双眼鏡の練習コーナーや無料での双眼鏡の貸出し、自然解説員の常駐など、来園者のサポートもしています。</p> <p>区内にも多種多様な野鳥が生息しています。ぜひこの冬は親子でバードウォッチングにチャレンジしてみたいはいかがでしょうか。</p>	



▲ポスター



▲となりのトリ図鑑

【企画展概要】

日 時：令和6年2月26日（月）まで 午前9時～午後4時30分（火曜、年末年始休園）
料 金：無料
内 容：①参加型企画「となりのトリ図鑑」

野鳥の種類・行動を観察してミッションをクリアすることで図鑑のページが増え、ポイントがもらえます。たくさん集めると景品が獲得できます。自分だけの図鑑づくりやミッションへの取り組みを通して、新しい発見や学びに出会うことができるコンテンツです。

②「トリとであおう」・「トリとあそぼう」・「トリをさがそう」展示

双眼鏡の使い方を野外で練習し、鳥探しのコツをビンゴで学べる「トリとであおう」ブース。鳥の見分け方を学び、かるたや俳句で鳥と親しめる「トリとあそぼう」ブース。区内の野鳥観察マップなどで、様々な環境での野鳥観察をサポートする「トリをさがそう」ブース。

この3つの展示を通して、野鳥観察のコツや知識などを、楽しみながら学ぶことができます。



▲イベントの様子
(図鑑づくり参加中)



▲中里郷土の森
オリジナルかるた

【区立中里郷土の森について】

100年以上前からある貴重な屋敷林を活かした緑地で、練馬のみどりや生き物と直接触れ合いながら学べる体験型施設として平成29年3月25日に開園しました。

園内の「森の学習棟」では、常駐の自然解説員とともに、練馬の自然や生きものを楽しく学べる自然体験プログラムを実施しています。



▲森の学習棟

【問い合わせ】 練馬区 みどり推進課 施設係 電話03-5984-1664